



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第507号

2021年6月7日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

八千代市の将来的な公共施設はどうあるべきか

八千代市は、未来を見据えた最適な公共サービスを目指すため、2015年7月、「八千代市公共施設等管理計画」を策定、公共サービス・施設等の規模の適正化、公共施設等の効率的な施設管理及び有効活用の3原則に基づく公共施設等の全体適正化推進しています。

八千代市公共施設等個別施設計画（21年3月）は、中長期的な改修・更新等の費用の縮減及び平準化を図るとともに、将来にわたり真に必要な公共サービスを安心・安全な公共施設等で提供していくため、施設ごとの今後の方向性を定めるとして、直近5年間で対応すべき施設を抽出し財政収支を意識した実施計画と今後30年間の中期計画とを併せて策定するとしています。

小中学校など教育施設が統廃合のターゲットに

この計画の推進にあたって市は、「公共施設全体の延べ床面積の割合では、小・中学校がおよそ6割を占めており、今後、公共施設等の全体最適化を図るためには、学校施設における取り組みが非常に重要」として、統廃合のターゲットにしようとしています。

この計画によれば、市内の小・中学校33校中、22校を対象に7校に削減するというもので、絶対に認めることはできません。

特に、計画の前提が、小学校1年生だけが35人学級となっているが、2年生以上は40人学級となっており、学級数の算定根拠が崩れているのです。

先の市長選挙でも、学校統廃合計画が争点となり、「団地から学校がなくなるなんて知らなかった」（米本団地）、「コロナ禍のなか、少人数学級を実現してほしい」（八千代台）など、市の計画に疑問の声が寄せられています。

国も少人数学級へ40年ぶりにかじを切る

萩生田文部科学大臣は、3月30日の参議院文教科学委員会で、今後のさらなる取り組みの展望として、「将来を担う子供たちへの投資というものは、これはだれもが認めて頂ける、そういう価値観を国会が持っていることが極めて大事、そういう意味では、とりあえず35人の第一歩を踏み出しますけれど、やはり少人数学級にした方が子どもたちの学びはよくなるよね、学校が楽しくなるよね、子どもたちが明るくなったよね、多様な評価をみなさんでして頂いて、その成果を中学校、高校へとつなげていくことが必要だと思っています」と力強く述べています。

市と教育委員会は、文科大臣のこの指摘を真正面から受け止め、統廃合計画、なかんずく小中一貫校計画を止め、どの子にも行き届いた教育実現に向け、少人数学級の実現に全力を上げるべきです。



日本共産党は、保護者・市民のみなさんとともに統廃合計画の中止と少人数学級の実現に全力で取り組みます。